

# 東京バッハ合唱団 月報

[第553号] 2008年7月

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 Tel : 03-3290-5731 Fax : 03-3290-5732  
E-mail : bachchortokyo@aol.com http : //www2.tky.3web.ne.jp/~bach/chor/

BACH-CHOR, TOKYO  
Monthly Newsletter No.553  
July 2008

5-17-21-101 Funabashi,  
Setagaya-ku, Tokyo

夏の特別演奏会「 J.S.Bach 教会音楽の夕べ 」特集 (挟み込み 3~4 ページ)



## 第 102 回定期演奏会を終えて

公演日時 : 2008 年 6 月 21 日(土)午後 2 時開演  
演奏会場 : めぐるパーシモンホール

カンタータ第 102 番《主の目は 信仰を見たもう》  
カンタータ第 67 番《留めよ心に 主イエスを》  
- 休憩 -  
カンタータ第 169 番《神にのみ わが心献げん》  
カンタータ第 182 番《天(あま)つ君を 喜び迎えん》  
<演奏>

アルト : 佐々木まり子

テノール : 鏡 貴之

バス : 河野克典

オーケストラ : 東京カンタータ室内管弦楽団

オルガン : 筒井淳子

指揮 : 橋本眞行 (前半) 大村恵美子 (後半)

梅雨のさなかで空模様心配されましたが、予報に反して、雨に降られることもなく、多くのご来場をいただくこ

とことができました。「めぐろパーシモンホール」は席数 1200 の大きなホールでしたが、大半の席がうまっていたのでしょうか。もはや石橋メモリアルホール(現在改築工事中)では収容しきれないお客さまの数になったようです。

初めての会場でしたが、聴衆の多くの方が響きの良さと明かるい内装の心地よさを指摘していらっしゃいました。今後も機会があれば使ってみたいホールです。

前半は橋本眞行の指揮で BWV102 と BWV67、後半は大村恵美子の指揮で BWV169 と BWV182 が演奏されました。

まだ数日しかたっていませんが、早々とお寄せくださった感想をご紹介します。

(写真は前半のステージ。撮影：鈴木眞氏)

内本 越子 (団員：ソプラノ)

私のお誘いした方が感想を聞かせてくださいました。傍にドイツ人が二人いらして、「日本語の演奏は素晴らしい、コーラスも揃っていて、とても良かった。合唱団の皆様宜しくお伝えください」と、言われたそうです。

またメールで感想を伝えてくださった方もありますので、以下に引用します。どうぞ一読くださいませ。

「日本語のバッハのカンタータは初めて聴きましたが、とても楽しませていただきました。オペラなどで時々日本語のものを聴いたりしますと、やはり原語でなければ言葉と曲の美しさが合わない、など思うことがよくありますが、バッハの場合は違うのですね。日本語によってバッハの発するメッセージが直接伝わって来るように思われました。」

三上 裕子 (団員: アルト)

私にとって今回の4つのカンタータは、前回までの公演とは比べられないくらい、快く歌えたように思います。それも歌詞を深く味わいながら、同感し満たされる思い、皆さまと声を合わせた一曲一曲、感謝のうちに歌い終わりました。BWV67の第6曲(バス・アリアと合唱) 安らかなれ 汝ら、オケ合せて本当に美しいと、感動しました。とくにBWV102の第7曲コラール 今日にも たち帰れ の言葉に涙いたします。バッハの曲に対する一種の先入観とはまったくちがう、それぞれの明かるさ(軽快さ)や楽しさ、素晴らしさを味わいながら。

初めてお出でになった方々、それぞれ目を輝かせて「日本にこういう合唱団があるのを知らなかった!(音楽好きの人たちですのに)これからも、ぜひまた聴かせてほしい、続けていただきたい」と大満足のご様子でした。いま私にとっても、日本語で歌えるバッハのカンタータの合唱が、何にも替えがたい健康のもとと実感しています。これからも練習をつづけられるよう願っています。

ヘルムート・リリング氏よりメッセージ

23/06/2008

Liebe Emiko Ohmura,

mit großem Interesse habe ich die Unterlagen für Ihre Bach-Aktivitäten erhalten.

Ich möchte Ihnen zu all dem gratulieren, was Sie für die Verbreitung des Bachschen Werkes in Japan tun. Sie bereichern damit das Leben vieler Menschen.

Nehmen Sie meine besten Wünsche für erfolgreiche Konzerte.

Ihr

Helmuth Rilling

大村恵美子様

バッハに関するあなたのご活躍を示す資料を、私は大きな興味をもって受けとらせていただきました。

バッハの作品を日本に広めるためになされた、あなたのすべてのお仕事に、私はお祝いを申し上げます。それによってあなたは、多くの人びとの生活を豊かにされているのです。

今後の演奏会のご成功を心よりお祈りいたします。

ヘルムート・リリング

## J. S. Bach 教会音楽の夕べ

2009年ヨーロッパ演奏旅行の曲目による

夏の特別演奏会

会場: 世田谷中央教会

日時: 7月21日(祝日)午後4時開演

<入場無料>

カンタータ第8番(み神よ わが死はいつ)

1. 合唱

4. アリア(バス斉唱)

6. コラール

宗教歌曲(ソプラノ独唱)

(太陽は今や一日を終えて) BWV446(1,9節)

(愛するわが羊 いずこに迷いし) BWV507(1,7,8,9節)

(来たれ この日) BWV479(1,2節)

- 休憩 -

カンタータ第131番(深みより 主よ われはなれを呼ぶ)

1. 合唱

2. アリア(バス斉唱、ソプラノ・コラール)

3. 合唱

4. アリア(テノール斉唱、アルト・コラール)

5. 合唱

カンタータ第191番(グロリヤ 高き天なる神に)

1. 合唱(5声部)

2. 二重唱(ソプラノ/テノール)

3. 合唱(5声部)

- 聴衆のみなさんと共に -

宗教歌曲(いざ立て 今こそ) BWV440(1,3,7節)

<演奏>

ソプラノ = 光野孝子

フルート = 山田恵美子

ピアノ = 金澤亜希子

合唱 = 東京バッハ合唱団

指揮 = 大村恵美子 / 橋本眞行

野尻湖演奏会

会場: 野尻湖国際村オーデトリウム(神山教会)

日時: 8月2日(土)午後4時開演

<入場無料>

カンタータ第8番(み神よ わが死はいつ)

カンタータ第131番(深みより 主よ われはなれを呼ぶ)

カンタータ第191番(グロリヤ 高き天なる神に)

ピアノ独奏(フランツ・リスト曲)

(アヴェ・マリア) (超絶技巧練習曲第2番)

合唱 = 東京バッハ合唱団

ピアノ = 金澤亜希子

指揮 = 大村恵美子 / 橋本眞行

# J. S. Bach 教会音楽の夕べ

世田谷中央教会 夏の特別演奏会 7月21日  
野尻湖演奏会(国際村・神山教会) 8月2日

歌詞(大村恵美子・訳)

カンタータ第8番(み神よ わが死は いつ)

Liebster Gott, wenn werd ich sterben BWV 8

1. コラール合唱

み神よ わが死は いつ

時は とく 去りゆき

ふるき アダムの 裔(すえ)

われも 受けつぎし さだめ

はかなき いのちを

ともしく 貧しく

この世に ながらえ

やがて 土に もどるなり

(Caspar Neumann „Liebster Gott, wenn werd ich sterben“1690 第1節)

4. アリア(バス)

失せよ おろかに むなしき 憂い

主 われを 呼ぶ: 行かざらんや みもとに

貴きもの 世に なし

来たれ 喜びの 朝よ

光を 浴びて 立たしめよ

主 イエスの み前に われを

6. コラール

死と 生を 統(し)らす 君よ

教えたまえ

雄々しく わが 魂を

主に ゆだねん ことを

きよき 聖徒らの

かたえに 眠り

もはや 地に ありて

滅び果てざる ことを

(Caspar Neumann 同上、第5節)

宗教歌曲(太陽は今や ひと日を終えて)

Der lieben Sonnen Licht und Pracht BWV446

1節

太陽は いまや / ひと日を 終えて

世は いこいの 時 / いざ わが 魂よ

み空 仰ぎ / 歌いまつれ

耳も 心も ただ / イエスに 注げかし

9節

いまは わが からだ / やすらぎの 時

疲れし まなこを / 閉じよ しずけく

ああ 主 わが イエス / 終りは よし

いざ イエス わが イエス / お休み お休み

宗教歌曲(愛するわが羊 いずこに迷いし)

Wo ist mein Schäflein, das ich liebe BWV507

1節(イエス・牧人)

愛する わが 羊 / いずこに 迷いし

われより 離れて / いたく われは 憂いぬ

牧場と 柵(さく) 知るや / なが 造り主は

呼び覚まし まさ道 / もどり来るを 待つ

7節(小羊)

荒野に 聞く 声は / たが 呼ぶ 声なる

まきびと ならんや / 帰りこよ と 聞こゆ

われをも 待ちたもうや / 迷うを われ 知る

足も はや 疲れて / 助けを われ 願(ねご)う

8節(イエス・牧人)

わが 声 聞きて なれ / 帰りくる 日まで

さがし 呼びつづけん / わが 胸に いたきて

安らかに 憩わせん / わが まもり あれば

もはや なれは 畏(わな)に / おちいる こと なし

9節(小羊)

主よ なが 声 聞きて / われは 走り寄り

われを 解きはなち / 群に 戻したまえ

主を知る 羊らは / なれと ともに 生く

われをも なが 胸に / しかと いたきたまえ

宗教歌曲(来たれ この日)

Kommt, Seelen, dieser Tag BWV479

1節

来たれ この日 頌めうた ささげん

開かれたる 口 もて 告げよ

み霊は きょう あまたの 戦士

備えたりと われらも 祈らん

2節

とわの み霊 われらを 包み

み恵み もて われらに 降(くだ)れ

われら なが もの み言葉により

贈りたまえ ゆたかの 実を

カンタータ第131番(深みより 主よ われはなれを呼ぶ)

Aus der Tiefen rufe ich, Herr, zu dir BWV131

1. 合唱

深み より 主よ われは なれを 呼ぶ

主 きけよ わが 声

耳 かたむけよ わが 切なる 願い

(詩編 130:1,2)

2. アリア(バス, ソプラノ・コラール)

み前に とがを 糾(ただ)さるれば

ああ たれか 耐ええん

(詩編 130:3)

憐れみたまえや

かかる わが 重荷

主は 負いたまいぬ

十字架の 上に

なが もとにぞ み赦しは あり

## とうときかな 主は

(詩編 130:4)

罪に われ 滅びず  
望みも とわに  
絶えざらしめんとて

(Bartholomäus Ringwaldt „Herr Jesu Christ, du höchstes Gut“ 1588 第2節)

### 3. 合唱

待ちのぞむ 主を のぞむ  
わが 心は み言葉を のぞむ

(詩編 130:5)

### 4. アリア (テノール, アルト・コラール)

わが 魂は 主を 待てり  
物見の 夜明けを 待つごとく

(詩編 130:6)

嘆き 悲しみに  
うち拉(ひし)がれたる  
罪びと われは  
こころ 悩みて  
とうとき 主の 血に  
潔めらるるを 願い もとむ

(Bartholomäus Ringwaldt 同上 第5節)

### 5. 合唱

イスラエル 主を 仰げ  
慈しみの なが 主を 救い主を  
主は み民を 救いません おのが 罪より

(詩編 130:7,8)

## カントーア第 191 番 (グロリヤ 高き天なる神に)

### Gloria in exercis Deo BWV191

#### 1. 合唱

グロリヤ 高き 天(あめ)なる 神に  
地に 平和  
主の 民に あれや

(ミサ通常文 Gloria 冒頭, ルカ 2:14)

#### 2. 二重唱 (ソプラノ/テノール)

グロリヤ 父に み子に 聖(きよ)き み霊に

(ミサ固有文 Doxologia 前半)

#### 3. 合唱

初めに ありしごと 今も 後も  
後の 世も とわに アーメン

(ミサ固有文 Doxologia 後半)

## 宗教歌曲 (いざ立て 今こそ)

### Auf, auf! die rechte Zeit ist hier BWV440

#### 1 節

いざ 立て 今こそ / 時は 門(かど)に 待つ  
目覚めよ はらからよ / 捨て去れ 世の 迷い(繰返し)

#### 3 節

星なき 闇夜は / とく 消えゆきて  
待ち望める 日は 来たり / 暗き 夜 過ぎ去りぬ(繰返し)

#### 7 節

主イエスを まといて / その愛に とどまれ  
地に ある 身を かえりみ / 罪より 立ちあがれ(繰返し)

## 出演者プロフィール

### 光野孝子：ソプラノ

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。二期会オペラスタジオ・マスタークラス修了(優秀賞受賞)。第5回藤沢オペラコンクール入選。オペラでの活動に加え、宗教曲において、バッハの教会カンタータほか「マタイ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」「口短調ミサ曲」、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」など多くの作品でソロを歌っている。2006年6月ライプツィヒのバッハフェスティバルにて、樋口隆一氏指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団とともに、カンタータ音楽礼拝ソリストとしてニコライ教会で演奏。現在、国立国会図書館うたう会、霞ヶ関男声合唱団指揮者、明治学院バッハアカデミー、横浜ハルモニエ合唱団などにてヴォイストレーナー。1997年文化庁芸術インターンシップ研修員。二期会会員。東京バッハ合唱団声楽発声指導者。

### 山田恵美子：フルート

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校をへて、同大学音楽学部器楽学科を卒業。林りり子、吉田雅夫、川崎優、野口龍の各氏に師事。大学在学中に第45回日本音楽コンクール第2位に入賞。また学内にて安宅賞を受賞した。その後ウィーン国立音楽大学に留学し、ルイス・リヴィエール、マインハルト・ニーダーマイヤーの各氏に師事する。ウィーン、東京、福岡、横浜においてリサイタルを行い、好評を得る。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を経て、現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席フルート奏者。コンチェルトのソリストとしてオーケストラと協演、またテレビ、FMリサイタル等にも出演している。1995年より「かながわ音楽コンクール」管楽器部門の審査員。東京バッハ合唱団の定期演奏会に数多く出演。

### 金澤亜希子：ピアノ

東京音楽大学ピアノ専攻卒業。第11回静岡県学生音楽コンクール第1位および県教育長賞、SBS静岡新聞社賞受賞。日本ピアノ教育連盟主催第13回ピアノオーディション奨励賞受賞。本選出場。第4回モスクワ国立音楽院セミナー受講。第25回PTNAピアノコンペティション、コンチェルト部門全国決勝大会入選。第8回ぎふリスト音楽院マスターコース修了、留学試験合格。2003年からハンガリー国立リスト音楽院に留学。2004年東京にて帰国記念コンサートを開催、オーケストラと協演。2005、06年にはハンガリー、イタリア、ポーランド、ドイツの各地で演奏。第2回サミュエル・バーバー国際フェスティバルに参加。フィラデルフィア(アメリカ)でトノニ四重奏団と共演。ピアノを笠間春子、角野裕、小林由佳、南雲竜太郎、レーティ・パラージュの各氏に、室内楽をペレーニ・ミクローシュ氏に師事。東京バッハ合唱団伴奏ピアニスト。

### 橋本眞行：指揮

東京バッハ合唱団副指揮者、松山バッハ合唱団主宰者・指揮者。愛媛大学合唱団指揮者を経て東京バッハ合唱団入団後、大村恵美子氏指導のもと、また小林道夫、H・リリング、若杉弘各氏の指揮のもとで研鑽を積む。その後も機会を得てH・ヴィンシャーマン、黒岩英臣、H・ドレンゲマン、P・ノイマン、H・M・ボイアーレ、故林達次各氏の指揮のもとでバッハ作品を中心に勉強をする。1978年に松山バッハ合唱団を組織し、今日に至る。2003年より東京バッハ合唱団の指導に参画し、定期演奏会での指揮を分担している。

カンタータ第 122 番 (新たのみどりご 小さきわがイエスは)  
 »Das neugeborne Kindelein« BWV122

歌詞 (大村恵美子・訳)

1. 合唱

新たの みどりご  
 小さき わが イエスは  
 新年を 始めたもう  
 選ばれし み民に

(Cyriakus Schneegaß „Das neugeborne Kindelein“ 1597 第 1 節)

2. アリア (バス)

人よ 日ごと 罪を 重ねつつも  
 天使らは よろこび 迎えん  
 みつかいの 歌声は  
 神との 和(やわら)ぎ 告げ  
 なれらに 伝えぬ、いと やさしき 慰めを

3. レチタティーヴォ (ソプラノ)

先には 天使 なれらを  
 厭(いと)いおりしが  
 いまや 成れる 救いに  
 歌声 大気を みます。  
 主 楽園より  
 放(はな)ちたまいしが  
 ふたたび 地の 上にて  
 われらに 幸(さち)を あたえたもう。  
 されば 高らかに うたい  
 み恵みに 謝しまつらん

4. アリア (アルト・コラール、ソプラノ/テノール二重唱)

主は 友と なりたもう  
 幸(さち)なり より頼む 者  
 仇(あだ)なす すべなし  
 慰めは 奪(うば)われること なし  
 悪魔 迫るとも  
 襲(う)いても かいなし  
 主 イエスは 避けどころ  
 主 かたえに 守りませば

(Cyriakus Schneegaß 同上 第 3 節)

5. レチタティーヴォ (バス)

主 みずから 地に その御子  
 降(くだ)したる 大いなる 日  
 いま ここに 果たさる  
 おお 望(のぞ)みは 満たされたり  
 信仰は さとりぬ  
 神より 出(い)でし 愛よ  
 苦しみは 消(く)え失(う)せたり  
 主に 感謝(かんしゃ)の 歌を

6. コラール

ヨベルの 年 迎えて  
 悲しみを 終えよ

いまや 歌の 時  
 イエスこそ 喜び

(Cyriakus Schneegaß 同上 第 4 節)

解説 (橋本眞行)

初演：1724 年 12 月 31 日 (クリスマス後日曜日), ライプツィヒ。

編成：ソプラノ, アルト, テノール, バス独唱, 4 声部合唱, リコーダー3, オーボエ2, タイコ (現在の楽器ではイングリッシュホルン), オルガンと弦楽合奏, 通奏低音。

有名なバッハの《クリスマス・オラトリオ》は、それが降誕節の全期間 (広義のクリスマス) にわたるカンタータ 6 曲の連作であり、12 月 25 日から 27 日の降誕祭祝日 (狭義のクリスマスの 3 日間, 前半 3 部), 新年 (1 月 1 日, イエスの割礼・命名記念日, 第 4 部), 新年最初の日曜日 (第 5 部), 顕現祭 (1 月 6 日, 第 6 部) にそれぞれ割りあてられたものであることをご存知の方も多いと思います。これらの日が主たるクリスマスの祝祭日だったのでしょう。しかし年によっては、この広義のクリスマス期間でもう 1 日、年末までの間に日曜日がありうるのです。このカンタータは、そうした、いわば“日陰”の日曜日のひとつであった 1724 年 12 月 31 日のために作曲されました。

このカンタータの最大の特徴は、その主たる祭日 (新年) の前日であった演奏機会に由来します。すなわち、2 日連続でカンタータを演奏しなければならない状況では、主たる祝日を立派に務めることが重要で、主たる祝日でない機会のためには、演奏者の負担 (あるいは技量) を考え、いわば“省エネ”の作品を提供することが求められたのでした。実際に翌日 1725 年 1 月 1 日のためのカンタータ第 41 番《イエスを頌めよ 新たな年に》が 3 本のトランペットとティンパニ、3 本のオーボエを必要とする大規模な作品であるのに対して、この 122 番のカンタータは、弦楽器と通奏低音のほかに、弦楽器を補強する (弦楽器と同じ旋律を奏する) ための 3 本のオーボエ族と単純なコラールを奏する 3 本のリコーダーを要するのみの簡素な編成になっています。

また、このカンタータが、ある一つのコラールに題材を得て論旨を展開するコラール・カンタータとして作曲されたことも、簡素化の要因となっています。このカンタータに用いられたコラールは、イエス到来による救いへの期待と新年への希望をことほぐ C・シュニーガス作の、カンタータ表題と同名のコラール (1597) で、歌詞は 1 節が 4 行と短く、日本でいう短歌のような簡潔な表現になっており、このカンタータへは第 1 曲 (第 1 節), 第 6 曲 (第 4 節) に 4 行詩そのままが用いられ、第 2 曲 (第 2 節) は改作敷衍されたものが、また第 4 曲 (第 3 節) ではトロースという、補足説明的な歌詞を挿入付加する手法をつかって拡大したものが置かれています。同時にコラール旋律も、第 1, 3, 4, 6 曲に行間のリトルネル (間奏) を付加されたものもありますが、いずれも改変されず、そのままの形で用いられています。

“日陰”の演奏機会に“省エネ”せざるを得なかったバッハが、上記のように作曲したこのカンタータは、しかしな

## 第103回定期演奏会

日時：12月13日(土) 14:00開演

会場：杉並公会堂大ホール

・・・

カンタータ第122番 (新たのみどりご 小さきわがイエスは)

カンタータ第214番 (太鼓よ鳴れ ラッパよ響け)

カンタータ第75番 (貧しきものは食し)

カンタータ第191番 (グロリヤ 高き天なる神に)

・・・

ソプラノ 光野孝子 アルト 佐々木まり子

テノール 鏡 貴之 バス 小原浄二

オルガン 草間美也子

東京カンタータ室内管弦楽団 東京バッハ合唱団

指揮 大村恵美子 / 橋本眞行

・・・

チケット発売：9月中旬予定

がら、内容の濃いものになっています。全体をとおして先ず気がつくのは、クリスマスの時期にもかかわらず全曲が短調で書かれており、かつ半音階上行形の動きを頻繁に使っているため、全体は重苦しい印象があることです。全曲が短調で書かれているカンタータは極めて珍しく、有名な第4番《キリスト 死につながれしが》の他数曲ということを見ると、バッハの特別の意図を感じないわけにはいきません。ここで思い起こすことは、《クリスマス・オラトリオ》全体の最初と最後に置かれたコラールが、あの有名な受難コラール 血潮したたる主のみ頭 であることです。バッハは、イエスの到来は喜ばしいことには違いないが、将来われわれの罪をあがなうために十字架につけられる運命のお方であることを深く心に刻むべきと、暗に知らしめようとしたのだと理解できるのですが、それと同じ考え方がこのカンタータでも貫かれているのではないのでしょうか？ そのヒントは、第1曲の冒頭主旋律の4つの音の形：d-es-d-gにあります。こういう音形について、楽譜上で両端の音を結ぶ線と真ん中の2つの音を結ぶ線は十字架を形作るという研究成果がありますが、この曲ではまさにそれが当てはまるのです。バッハはたんに“省エネ”でこのカンタータを書いたのではなく、制約の多いなかでその本義を過まらず表現するという驚くべき発想と技術を見せてくれているのです。

第1曲合唱では、誕生したイエスがまた新たな新年をもたらしてくれることへの感謝を歌いますが、冒頭4小節の旋律が、瞬時に十字架につくべきイエスを想起させ、悲しみを湛えた感謝のまなざしを天上の主に向ける信徒の気持ちを表現し、オーボエ族と弦楽器が同じ旋律をかなでる音色感は、信徒の気持ちの強さと、もう一方では受難の暗さを表わしています。合唱はソプラノによるコラールの歌い出しにあわせて、その旋律を音価短縮した形で下3声が順次歌い出し、コラールメロディを印象づけています。

第2曲バス・アリアは、地上で重ねられる罪と、神との和解 やわらぎ が我々に向けられたことについての天使の喜びがテーマです。通奏低音のみの伴奏は「地上」での営みを暗示し、歌唱/伴奏とも、それぞれ半音階が強調される極めて性格的な音型が何度も繰り返され、罪を重ねることが表現されます。旋律は第1曲の冒頭から想起された跳躍下降と上行旋律であり、第1曲との繋がりが感じられます。一方で(天使の)喜び、歌声 あるいは 伝えは16分音符のメリスマによって象形的に示されます。人よ という歌唱冒頭の呼びかけの音型は、ベートーヴェン「交響曲第九」の第4楽章でバスのソロが発する第1声「友よ」との類似性が感じられます。

第3曲は器楽のコラールつきのレチタティーヴォ(ソプラノ)で、天使たちとの交わりが語られますが、この主旋律は、天使の歌声を象徴するリコーダーによって奏されます。第4曲アリアは、シチリアーノの舞曲にのって、弦楽器のユニゾンを伴ったアルトのコラールを中心に「トロープス」(補足説明的歌詞、前出)をソプラノとテノールが、神との和解の結果イエスが地上につかわされたことを喜び歌います。コラールの終わりをもって、アルトも神への信頼を語るトロープス歌詞をともに歌います。

第5曲では、弦楽器の伴奏によりバスが、神の愛が成就したというクリスマスの意義を結論的に語り、神へ感謝の歌を献げます。終わりの言葉 感謝の歌を(原詞では Lippen Opfer: 唇の献げもの)のところでみせるヴァイオリンのトリラーがきわめて印象的です。終曲(第6曲)は3拍子のコラールで、イエスを賛美しつつこのカンタータを終えます。

“日陰” “省エネ”という制約のなかにあっても、あらゆる音楽的手段をもちいて出来事の本義とテキストの内容を聴くものに伝えようとする、バッハの真骨頂が垣間見られる珠玉のカンタータです。

### 野尻湖コンサートと合宿のご案内

どなたでも参加を歓迎します

期間：8月1日(金)～3日(日)(2泊3日)  
宿泊・練習会場：野尻レイクサイドホテル  
集合：8月1日、午後、JR 信越線黒姫駅舎  
時刻は後日連絡。ホテルまではバスで送迎  
初めて参加する方のために、東京駅から一緒に現地に向かうグループを設置します。  
途中参加の方は各自宿舎までお越しください。

#### スケジュールの概要

8月1日(金) 午後ホテル着、夕食後練習  
8月2日(土) 午前練習、午後神山教会にてリハーサル、16時開演、終了後ホテルで打ち上げ(18時～20時)  
8月3日(日) 朝食後解散

#### 費用

1) 宿泊・食費：1泊4500円、朝食800円、昼食600円、夕食1200円、打上げ4000円(全行程参加は16400円)  
2) 参加費：1人3000円  
3) 交通費：各自負担  
新幹線利用(東京⇄黒姫、往復)17180円  
高速バス利用(新宿⇄長野、往復)7200円+信越線(長野⇄黒姫)480円×2  
団員以外の方は、詳細をお尋ねください。

